

文節分け・品詞確認シート

文節と単語を混同しないための中学文法プリント

使い方

文節は、文を意味のまとまりで区切る考え方です。単語分けより大きい単位なので、補助の言葉や付属語との違いに注意します。

文節分けミニ問題

文	文節の分け方
私は本を読んでいる。	私は / 本を / 読んで / いる。
弟が急いで走った。	弟が / 急いで / 走った。
雨が降ってきた。	雨が / 降って / きた。
友だちと公園で遊んだ。	友だちと / 公園で / 遊んだ。
新しい本を買ってもらった。	新しい / 本を / 買って / もらった。

文節で切るときのポイント

ポイント	例	考え方
補助の言葉は分ける	読んで / いる	「いる」が前の動作に意味を足す
て・ででつながる形に注意	書いて / いる、歩いて / いった	後ろの補助表現を別文節にする
単語分けと混ぜない	急いで	文節では1まとまり、単語では「急い / で」
主語・述語を先に見る	象は / 鼻が / 長い	文全体の述語と、部分の主述を分けて考える

品詞確認シート

品詞	見分け方	例
名詞	もの・人・場所・ことの名前	本、学校、努力
動詞	動作を表し、言い切りが「う段」になりやすい	読む、走る、考える
形容詞	性質を表し「い」で言い切る	美しい、楽しい
形容動詞	性質を表し「だ」で言い切る	静かだ、きれいだ
副詞	主に用言を詳しくする	とても、すぐ、ゆっくり
助詞	語と語の関係を示す	が、を、に、で
助動詞	意味を付け加え、活用する	た、ない、ます

家庭学習の声かけ

「何個に分ける？」だけでなく、「どこが述語？」「補助の言葉はある？」と聞くと、勘ではなく理由で区切る練習になります。